

# 平成25年度 街美化アダプト活動参加団体アンケート調査 集計結果

## < 調査の概要 >

・調査の対象: 街美化アダプト活動を実施している全団体

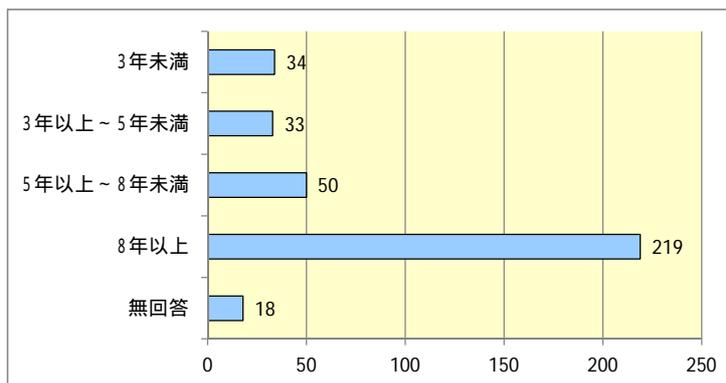
・調査の方法: 平成26年3月にアンケート用紙を団体あてに送付し、返却された回答を集計。

・アンケート回収率:

回収数	355	アンケート配布数	429	回収率	82.8%
-----	-----	----------	-----	-----	-------

## 問1 街美化アダプト活動に参加している期間。

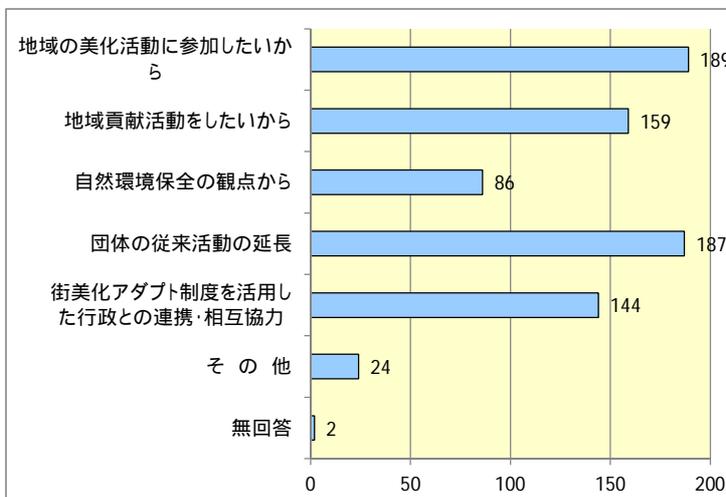
	回答数	割合
3年未満	34	9.6%
3年以上～5年未満	33	9.3%
5年以上～8年未満	50	14.1%
8年以上	220	62.0%
無回答	18	5.0%
合計	355	100.0%



・「8年以上」が最も多く、長年活動に参加している団体が全体の62%で、「5年以上8年未満」が2位で14.1%となっており、街美化アダプト制度の初期から活動している団体が多い。

## 問2 街美化アダプト活動に参加している理由。(複数回答可)

	回答数	割合
地域の美化活動に参加したいから	189	53.2%
地域貢献活動をしたいから	159	44.8%
自然環境保全の観点から	86	24.2%
団体の従来活動の延長	187	52.7%
街美化アダプト制度を活用した行政との連携・相互協力	145	40.8%
その他	24	6.8%
無回答	2	0.6%
合計	790	



### その他の主な意見

- ・ゲートボールの練習場として利用させていただいている感謝の気持ちもあります
- ・「広い公園をきれいにしたい」という思いから行動
- ・地域住民同士のコミュニティー作り
- ・地域の活性化、農業の振興
- ・活動を通じ、地域住民の「和」を推進

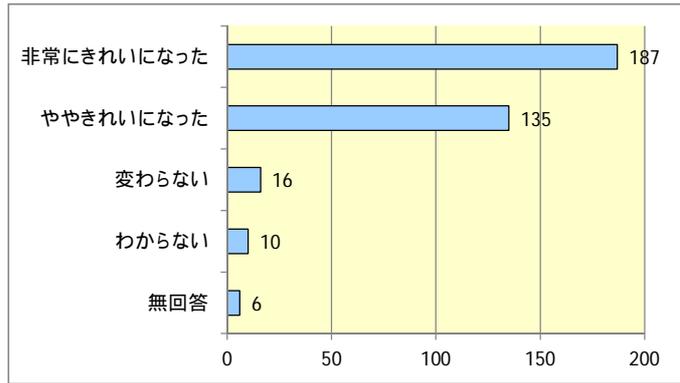
・「地域の美化活動に参加したいから」「団体の従来活動の延長」がそれぞれ53.2%と52.7%となっているが、前回(平成17年度)のアンケート結果と比較すると、「地域の美化活動に参加したいから」がプラス1.5%に対して、「団体の従来活動の延長」はマイナス5.8%となっており、団体の意識の変化が見られる。

・「地域貢献活動をしたいから」が44.8%で、前回比プラス3%となっており、地域を良くする活動に参加したいという意識で参加している人がそれぞれ4割～5割程度。制度本来の目的が支持されている。

### 問3 街美化アダプト活動の実施による成果について

#### (1) 街美化アダプト制度導入後の導入箇所の美化効果について

	回答数	割合
非常にきれいになった	187	52.7%
ややきれいになった	136	38.3%
変わらない	16	4.5%
わからない	10	2.8%
無回答	6	1.7%
合計	355	100.0%

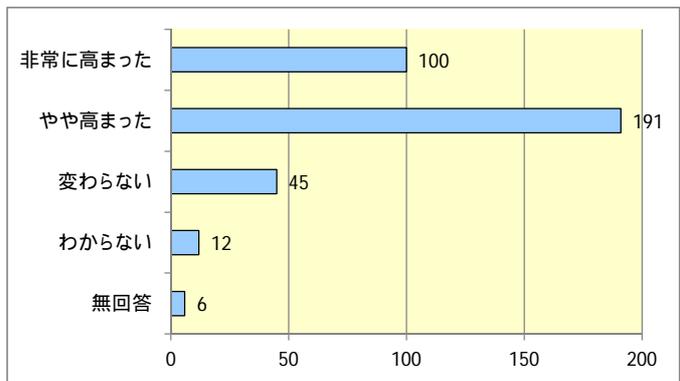


・「非常にきれいになった」が52.7%、「ややきれいになった」が38.3%、合わせて91%がアダプト制度の導入箇所の美化効果を肯定的に認めている。

#### (2) 街美化アダプト活動による意識効果について

##### ア 団体のメンバーの「街美化」への関心の高まり

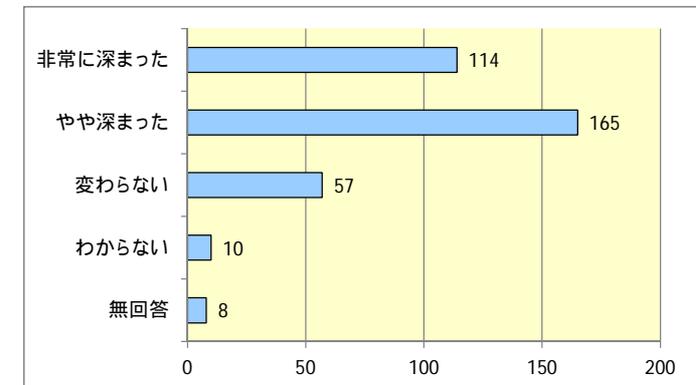
	回答数	割合
非常に高まった	100	28.1%
やや高まった	192	54.1%
変わらない	45	12.7%
わからない	12	3.4%
無回答	6	1.7%
合計	355	100.0%



・「非常に高まった」が28.1%、「やや高まった」が54.1%、合わせて82.2%が「街美化」への関心が高まったと認識しており、前回と比較して、「やや高まった」が7.4%減ったのに対し、「非常に高まった」が8.0%増加しており、実際に美化活動に携わることによって、「街美化」の意識がより根付いたといえる。

##### イ 団体のメンバーの連帯感の深まり

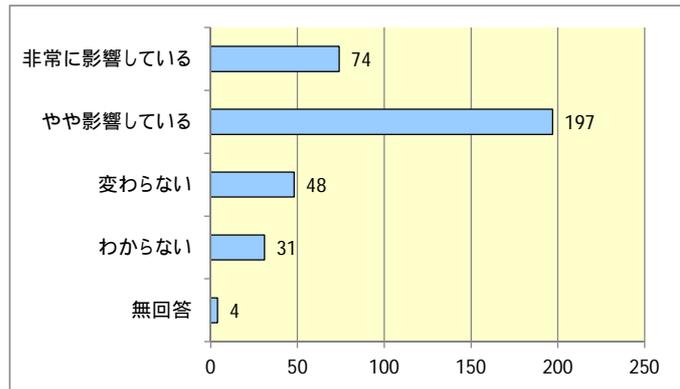
	回答数	割合
非常に深まった	114	32.1%
やや深まった	165	46.5%
変わらない	58	16.3%
わからない	10	2.8%
無回答	8	2.3%
合計	355	100.0%



・「非常に深まった」が32.1%、「やや深まった」が46.5%で、アダプト活動が単なる美化活動にとどまらず、団体メンバー間の連帯意識に影響を与えていることがうかがえる。

## ウ 団体の活動の導入エリアの住民の意識に影響

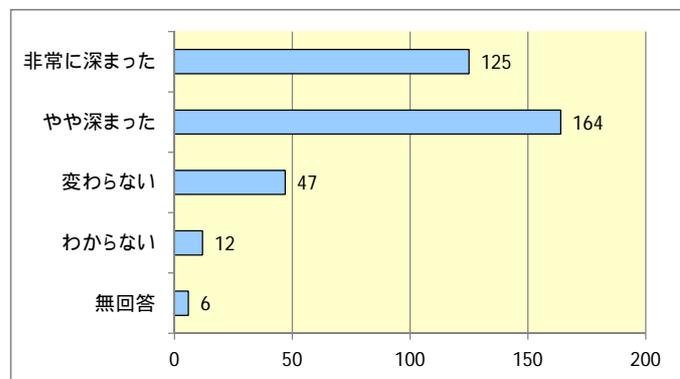
	回答数	割合
非常に影響している	74	20.9%
やや影響している	198	55.8%
変わらない	48	13.5%
わからない	31	8.7%
無回答	4	1.1%
合計	355	100.0%



・「非常に影響している」と「やや影響している」を合わせ76.7%と、美化活動を行うことが、地域住民の意識に影響を与え、導入箇所の美化に相乗効果を上げていると推測される。

## エ 活動場所や地域への愛着の深まり

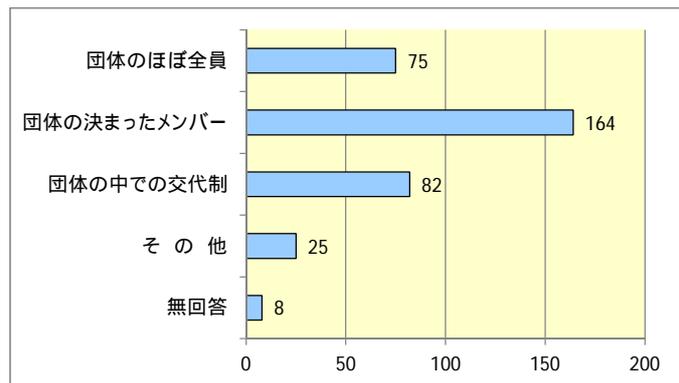
	回答数	割合
非常に深まった	125	35.2%
やや深まった	165	46.5%
変わらない	47	13.2%
わからない	12	3.4%
無回答	6	1.7%
合計	355	100.0%



・「非常に深まった」と「やや深まった」を合わせて81.7%と、アダプト活動により活動箇所への里親意識が醸成されていることがうかがえる。

## 問4 活動参加者は団体のどのような人が

	回答数	割合
団体のほぼ全員	75	21.1%
団体の決まったメンバー	165	46.5%
団体の中での交代制	82	23.1%
その他	25	7.0%
無回答	8	2.3%
合計	355	100.0%



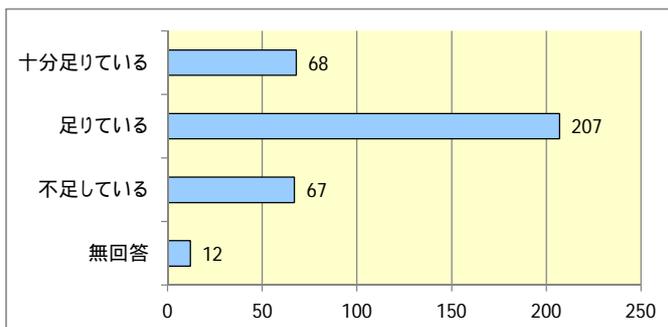
### その他の主な意見

- ・自治会関係者が偶数月、子ども会関係者が奇数月、老人会関係者は第3水曜日など、地域の団体間でコンスタントに清掃活動が実施できるよう、日程を調整している。
- ・だいたい決まったメンバーの中で交代制、作業時期・内容により地域住民の参加を要請
- ・年に2回以上、全員を対象として活動している

・「団体の決まったメンバー」が46.5%、「団体の中での交代制」が23.1%のほか、決まったメンバーが交代で実施している団体や、全員で実施する日と一部のメンバーで実施する日とを分けている団体もあった。制度本来の目的から言えば、決まったメンバーで活動するよりも、交代制で活動するなど、できるだけ多くの人が活動に参加することが望まれる。

## 問5 活動に参加する人員は足りているか

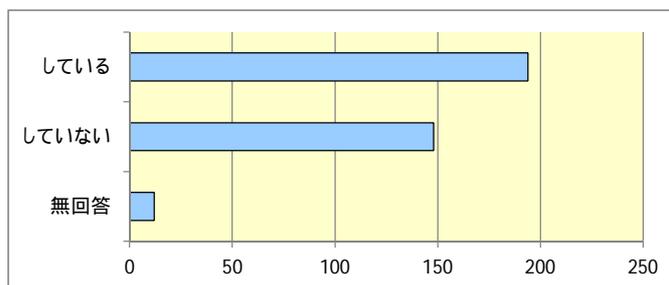
	回答数	割合
十分足りている	68	19.1%
足りている	208	58.6%
不足している	67	18.9%
無回答	12	3.4%
合計	355	100.0%



・「十分足りている」と「足りている」を合わせて77.7%と、活動参加者は足りているとの回答が多数を占めている。

## 問6 活動参加者を増やすための工夫の実施

	回答数	割合
している	194	54.6%
していない	149	42.0%
無回答	12	3.4%
合計	355	100.0%



・工夫をしている団体が54.6%。問5と問6の相関関係を見ると「十分足りている」団体も「不足している」団体も、参加者を増やすための工夫を行っている。前回調査では「活動参加者が十分足りている」団体は、特段活動参加者を増やすための「工夫をしていない」団体が多く、逆に「活動参加者が不足している」団体は活動参加者を増やすための「工夫をしている」団体が多かったことから、参加者が足りている団体でも現状に満足せず様々な工夫をして活動参加者を増やす努力をしていることがわかる。

## 参考 問5と問6の相関関係

問4 \ 問5	工夫している	工夫していない	無回答	合計
十分足りている	30	26	1	57
足りている	111	91	1	203
不足している	45	10	2	57
無回答	2	0	7	9
合計	188	127	11	326

問7 問5で「している」と答えた団体の具体的に実施している工夫の内容  
主な内容

活動日の周知に関するもの（文書で実施しているもの）

- ・自治会報や自治会掲示板、回覧版で活動日の周知。
- ・マンションの玄関ホール・エレベーター内にて活動日の周知。
- ・活動日を全会員宅に配布。

活動日の周知に関するもの（文書以外の方法で実施しているもの）

- ・諸行事において、アダプト活動の説明・案内等を日常的に行っている。
- ・活動終了後、定例会を実施して次回の活動日を確認
- ・隣近所の人に呼びかけて楽しく参加できるようにしている。
- ・会議等を利用して協力をお願いしている。
- ・活動日前日に個別に参加要請をしている。
- ・自治会内の関係者への呼びかけを実施している。
- ・商店街アナウンスにて告知している。
- ・活動日当日の朝、広報車で町内を回る。

活動日の設定方法に関するもの

- ・活動日を毎月月末の 曜日と決めている。
- ・毎月の活動日を第 週の 曜日と決めている。
- ・活動日を毎月 日と決めている
- ・土曜日の朝が一番人員が集まりやすいので、なるべくその時間に活動を行っている。
- ・少しでも多くの方が参加できるよう、土曜日と日曜日に活動を実施している。
- ・参加者の都合の良い日に活動をする。
- ・自治会館の清掃と合わせて実施している。
- ・ターゲット・バードゴルフ及びゲートボールの練習日の午前中に行う。

参加者への物品の支給に関するもの

- ・参加者に茶・ジュース・菓子を出す。
- ・年間で参加回数の多い人に粗品を出す。

活動の実施方法に関するもの

- ・自治会内の班の当番制で実施している。
- ・年間計画を決めて、自治会内の区レベルで順番にアダプト活動をしている。
- ・清掃当番を決めてノートを作成し、活動日、活動者名を記入して地域の会員全員が順番で活動している。

アダプト活動以外の地域での交流行事などの実施に関するもの

- ・活動後のトーク会・お茶飲み会を楽しむ。
- ・レクリエーション・ゲームをやっている。
- ・活動終了後にミーティングを行っている。
- ・自治会内で当番制で実施しているが、親睦と交流を目的に合同作業日も設定している。
- ・第1回目の活動と、年末の活動時に意識啓発と親睦を兼ねて、活動後にバーベキュー大会やもちつきを行っている。
- ・活動場所での子ども会との交流イベントを開催している。
- ・野草の天ぷらやよもぎだんごづくりイベントを開催している。
- ・みどりの協会の花補助制度を利用し、皆で花植えを楽しみにしている。
- ・活動をしている仲間、旅行に行くと仲間意識を高くしている。

その他

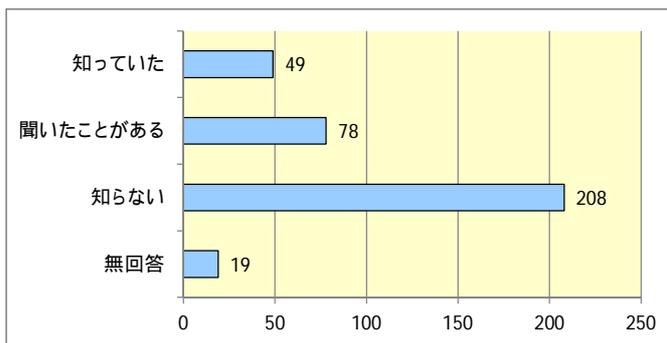
- ・不参加の理由によっては不参加者から欠席金をもらっている。

- ・掲示板や回覧版、声かけなどにより活動日を周知するものが一番多い。
- ・活動終了後に参加者に飲み物などを支給するものも多かった。
- ・今後はアダプト活動が単なる美化活動として終わることなく、アダプト活動をきっかけとして、地域での交流事業が活発になり、地域コミュニティ自体が活性化していくことが望まれる。

## 問8 街美化アダプト サインボード（活動表示板）について

### （1）サインボードを知っているか

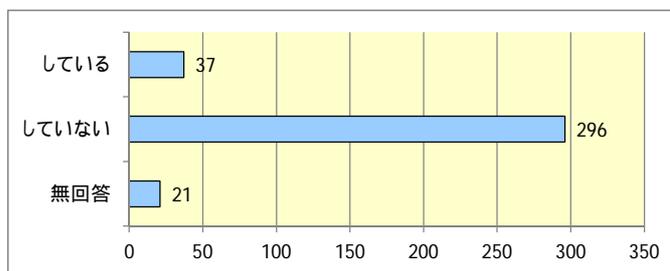
	回答数	割合
知っていた	49	13.8%
聞いたことがある	78	22.0%
知らない	209	58.9%
無回答	19	5.3%
合計	355	100.0%



・「知らない」と回答する団体が58.9%となっており、「知っていた」「聞いたことがある」を合わせた35.8%を大きく上回り、周知が行き届いていないことがうかがえる。

### （2）サインボードの掲示をしているか

	回答数	割合
している	37	10.4%
していない	297	83.7%
無回答	21	5.9%
合計	355	100.0%

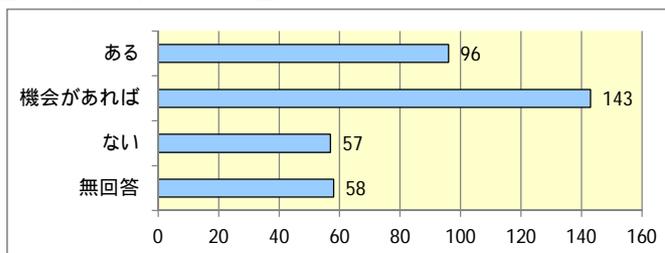


・「している」と回答した団体が10.4%となっており、(1)で「知っていた」と回答した団体が13.8%あったことから、サインボードは知っているが、掲示をしていない団体があるということがわかった。

### （3）今後サインボードを設置する希望はあるか

\*（2）で「していない」と回答した団体のみ回答

	回答数	割合
ある	96	27.1%
機会があれば	143	40.3%
ない	58	16.3%
無回答	58	16.3%
合計	355	100.0%



・「ある」27.1%、「機会があれば」40.3%となっており、サインボードの掲示について前向きな回答が得られた。

## 問9 街美化アダプト制度の問題点や今後の課題

### 主な意見

#### 参加者の拡大、参加意識の向上に関すること

- ・高齡化社会とともに男女問わず年々参加者が少なくなるのは大きな問題と思う
- ・参加人数を増やすため、勧誘努力を続けているが、若い人の参加が少ない
- ・活動は美化に役立つ他に健康状態の確認やコミュニケーションにも役立っている
- ・今老人会が中心となって活動を実施しておりますが、子ども会にこの活動へ参加してもらい、老人と子どもたちと接触する機会を作り、ともに作業していこうと考えている
- ・いつも決まった人達で行っていることが多く、また、高齡化しているので、人不足が課題になっている。今年度より会員の皆様が関わられるようにしたので、今後の結果を期待したい。
- ・子ども会が担当しているが、毎年子どもの数が減少している

#### 街美化意識の向上に関すること

- ・定期的な活動をすることで、町内全体がきれいになる。特に公園等で清掃活動をすることで利用する方や通行する方が安心感を持ち、防犯効果も期待できると思う。
- ・飲み残しの缶や吸殻が多い。毎回ごみの多さに失望している
- ・一般の通行人にタバコの吸殻のポイ捨てや紙くず捨てをやめてほしい

#### 街美化アダプト制度の普及啓発に関すること

- ・市の広報紙にもっと取り上げてほしい
- ・サインボードの設置枚数を増やしてほしい
- ・街美化アダプト制度のPRを積極的に行ってほしい
- ・街美化アダプト活動へ市職員の方々が参加・協力をしていただければ、もっと活動が盛り上がると思う（潤水都市実現のためにも）。なお、警察署や消防の方々は毎週1～2回、署の周辺の道路の清掃をしている

#### 街美化アダプト制度の制度改善に関すること

- ・清掃後のゴミを出す場所
- ・整地するための材料（砂等）費の補助又は全額負担を市に依頼したい。
- ・遊具の点検は、市でも年に何回かしていただくと安心
- ・「街美化アダプト」という言葉をはじめて聞いた。活動の内容の割に言葉が難しく、理解しにくいと感じた。自分たちがやっている公園清掃がこの活動に含まれることも知らなかった。
- ・清掃活動時に使用する工具や備品類の購入費が、アダプト経費だけでは賅えず自治会の負担となっている点などが課題ではないかと考える
- ・花苗の購入については、他の制度のみどりの協会などの制度を利用しないと満足できる苗数が確保できず、代表者の事務的なことが多くなり、大変である
- ・活動支援費を増額してほしい。お金でなく小樹木や花等でもよい。清掃のほかのみどりの協会の援助により公園花壇や周囲に花苗を植えているが、協会援助分だけでは足りない。個々の公園の状況により花苗の援助を実施願いたい。そのためには年1回程度実施状況の調査・評価を行うのも一策と思う。また、団体名を記入したアンケート等を提出願うのもよいと思う。
- ・補助金を支給するとなると使用方法も色々検討することになりますが、地域によっては草刈機又は大型の芝刈り機等を寄贈していただいた方が有効であると思われます。自分の草刈機持参で参加ご協力してくださる会員の方が多いです。
- ・活動資金不足

#### その他

- ・住宅に近い道路等の公共施設は、地域住民により自発的に美化活動がされていますが、住宅地から離れた道路のゴミや樹木の枝きり等は、行政で積極的に管理していただきたい。
- ・我々高齡者が仲間作りとして公園なり地域に必要と思い活動することが大事だと思います。
- ・活動は美化に役立つ他に健康状態の確認やコミュニケーションにも役立っている
- ・低木の刈り込み等は定期的に業者が実施しているようですが、樹木類（比較的大きなもの）は申請されたものを剪定伐採等処置されているようですが、定期的に業者に依頼できないか。
- ・ゴミ袋をいただきたい
- ・他の団体との経験交流会など、行ってほしい
- ・軽作業等については経験がなくとも実施（作業）ができるが、剪定等になるとある程度の知識や経験が必要なことから、誰でもというわけにはいかず、どうしても担当者が行うようになることから、委員になる者がいない（少ない）

- ・バス停の花壇なので、気を使って皆さんにかわいがられるようにがんばってしています。  
たとえばチューリップを植えて踏まれないように柵をしたりしています。
- ・設備の老朽化が進み、補修や再設をしたくても予備の不足や自力（業者委託）ではできない場合が多いので、市に依頼してもやはり予算の不足で対応してもらえない場合がある。

- ・高齢化による参加者の減少、若い世代の参加が少ないといった意見が多く、また、街美化意識の向上を訴える意見が多かった。
- ・活動支援費の増額や、活動で出たゴミの回収についての意見や、街美化アダプト制度の普及啓発の必要性についての意見もあった。